

～ここにも遺跡！～

→猿田彦とともに古代の世界へ!?

早良区藤崎

ふじさき
藤崎遺跡

お猿のお面で有名な猿田彦神社。今年の初庚申日である2月2日にお買い求めになった方もおられるのではないのでしょうか。そこで今回は猿田彦神社周辺の遺跡、藤崎遺跡を紹介します。

今から700年ほど前の中世以前は現在より海岸線が1キロメートル以上も南にあったので、猿田彦神社周辺も砂丘が広がっていました。この砂丘上に営まれた集落が藤崎遺跡です。この遺跡がはじめて注目されたのは明治45年、猿田彦神社の東隣で土砂掘削中に一枚の青銅鏡と一本の刀が発見されたことに始まります。

その後、地下鉄の藤崎駅建設に伴う発掘調査をはじめ、これまでの38回の調査によって、神社の周辺を中心に弥生～古墳時代に人々が居住地や墓地として利用していたということが分かってきました。

ビルの立ち並ぶ今では想像はできない

かもしれませんが、猿田彦神社へお参りの際は藤崎遺跡に思いを馳せてみませんか。道案内の神様とされる猿田彦が皆さんを歴史の世界へいざなってくれるかも？



直径24.7cm

さんかくぶちばんりゅうきょう

明治45年発見の青銅鏡（三角縁盤龍鏡）

→2・3月のイベント情報

2月

18日 埋蔵文化財センター速報講座 第1回
「蘇る出土遺物 平成27年度保存処理成果から」
講師：埋蔵文化財センター職員・文化財部

3月

1日 いもりじんじゃ うら
飯盛神社かゆ占（西区大字飯盛 飯盛神社）
（県指定無形民俗文化財）

18日 埋蔵文化財センター速報講座 第2回
「発掘調査総まとめ 平成28年度市域内調査から」
講師：埋蔵文化財課職員・文化財部

「飯盛神社 かゆ占」（県指定無形民俗文化財）

小正月の朝、神前に粥を供えて、半月後にそれを下ろし、表面に生えたかびの状態によって、その年の農作物の豊凶を占います。粥開きの朝はその結果を見ようと、近隣の農家からのたくさんの参詣者でにぎわいます。



福岡市経済観光文化局文化財部

住所：福岡市中央区天神 1-8-1

TEL: 092-711-4666 FAX: 092-733-5537

文化財の保存・管理・整備・活用に関すること

文化財保護課 TEL:092-711-4666

福岡城跡と鴻臚館跡に関すること

大規模史跡整備推進課 TEL:092-711-4784

埋蔵文化財の発掘調査・手続きに関すること

埋蔵文化財課 TEL:092-711-4667

埋蔵文化財センターに関すること

埋蔵文化財センター TEL:092-571-2921

ホームページ「福岡市の文化財」

<http://bunkazai.city.fukuoka.lg.jp/>

Facebook「福岡市の文化財」でも情報発信中！



歴史
の風

ふくおか
文化財だより

Vol.7 2017年2月号

～埋蔵文化財発掘ミュージアム～

博多区 博多遺跡群

水炊き！焼き鳥！

福岡には水炊きや焼き鳥など美味しい鳥料理があります。博多遺跡群からは白鳥、サギ類、カモ類、ニワトリ、キジ類の骨が出土しており、古くから鳥肉が日常的に食べられていたことが分かります。江戸時代の料理書によると、鳥は汁物の具とするのが一般的だったそうです。しかし、発掘調査では直火で焼かれた骨も出土します。博多の人は、昔から焼き鳥も好きだったようです。



博多遺跡群から出土したサギ類の上腕骨（端部が切断されていて、かすかに焼けている）

博多町人の家財道具

戦国時代末、博多は幾度かの戦乱に見舞われました。その際、人々は運びきれない貴重な家財を土中に隠しました。発掘調査ではたくさんの陶磁器や鍋類を整然と埋めた穴が見つかりました。戦乱がおさまった後、見つけることができず、取り残されたのでしょうか。



陶磁器などを隠した穴

※現在は発掘調査は終了しており、遺跡はすでに埋め戻されています。紹介した出土品は整理作業を行い、発掘調査報告書を刊行したのちに埋蔵文化財センターに収められ、閲覧や展示に活用されます。

→あの高校は江戸時代の藩校

～アプリを使って見に行こう～

江戸時代後期の天明4年(1784)、福岡藩は東西2つの藩校を開きました。

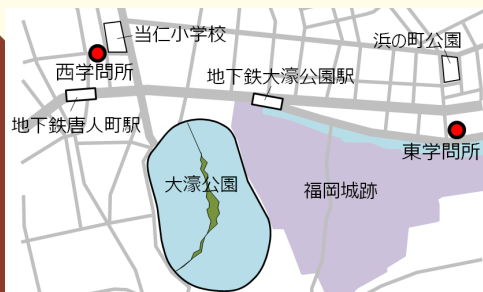
ひがしがくもんじょ しゅうゆうかん かみの はし
「東学問所（修猷館）」は福岡城上之橋の前(中央区赤坂1)に、「西学問所（甘棠館）」は唐人町（中央区唐人町3）にあり、多くの優秀な人材を輩出しました。西学問所は寛政10年(1798)に、東学問所は明治4年(1871)に廃校となりましたが、東学問所は明治18年(1885)に再興されました。それが、現在の県立修猷館高校(早良区西新)です。

現在、東・西学問所の跡地には石碑が建てられています。受験シーズン真っ只中。学生時代の思い出を振り返りながら、江戸時代の通学路を歩いてみませんか？



西学問所跡の石碑

今回紹介したエリアは、スマートフォンアプリ【福岡歴史ナビ】の散策ルート「3. 福岡城内」「5. 城下町 福岡城～唐人町」に掲載されています。周辺の文化財情報も満載です。まずはアプリをダウンロード！



ダウンロードはこちら

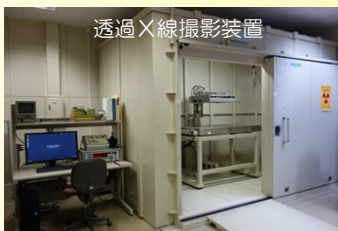


→最新鋭の検査機器

まいぞうぶんかざい
～埋蔵文化財センターだより～



福岡市内の発掘調査で出土した出土品を保管・管理する埋蔵文化財センターには、土の中に埋まっている間に腐食や破損をした出土品の保存処理、たとえば人間が病気やけがをした時のように治療や検査をする仕事があります。レン



透過X線撮影装置
象嵌大刀の発見に活躍しました

トゲンなどを使った診察が行われるように、埋蔵文化財の保存処理でも、理化学的な検査機器を使って様々な情報を得てから保存処理を行っています。

当センターでは平成11年に、診断や検査のための機器が導入され、これらを使って様々な成果を上げてきました。中でも錆におおごういんめいたち
も錆に覆われた鉄刀（庚寅銘大刀）のレントゲン検査で、きんぞうがん
金象嵌の文字が発見されたことは記憶に新しいところです。

他にも見た目だけでは分からない材質をX線を使って調べる装置や、細かい部分を拡大して観察する顕微鏡などがあります。昨年度と今年度にかけて、これらの検査機器をリニュー



X線解析装置
資料の材質（結晶構造）を調べます

アルしました。新たな装置で、また新発見や大発見があるかもしれません。乞うご期待！

（埋蔵文化財センターでは事前にご希望いただければバックヤードの見学にも対応しています。）

→刀剣愛が支える福岡城再建

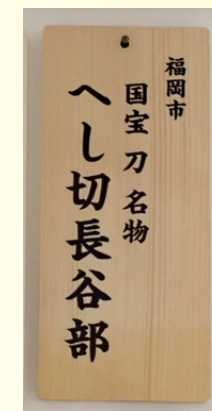
～展示期間中の寄付が50万円を突破～

1月5日から2月5日まで福岡市博物館で「国宝 刀名物 へし切長谷部」を展示しました。展示期間中、設置した「福みくじ」を通じて、来館された多くの皆様から「福岡みんなの城基金」へ寄付をいただき、累計が50万円を超えました。



展示された「へし切長谷部」

皆様の篤志に感謝する意味で作成し、三の丸スクエアに掲示している「へし切長谷部」名義の芳名板を、通常版からプレミアム芳名板（写真左下）へと掛け替えました。大きさはほぼ4倍、掲示場所も最上段なので、より見つけやすくなっています。



また、昨年好評をいただいた3Dプリンター作成のレプリカ日本号展示を今年も福岡城さくらまつり期間中に開催予定です。ぜひ三の丸スクエアまで足をお運びください。

福岡城・鴻臚館 案内処 三の丸スクエアのホームページ

<http://sannomarusquare.com/>